

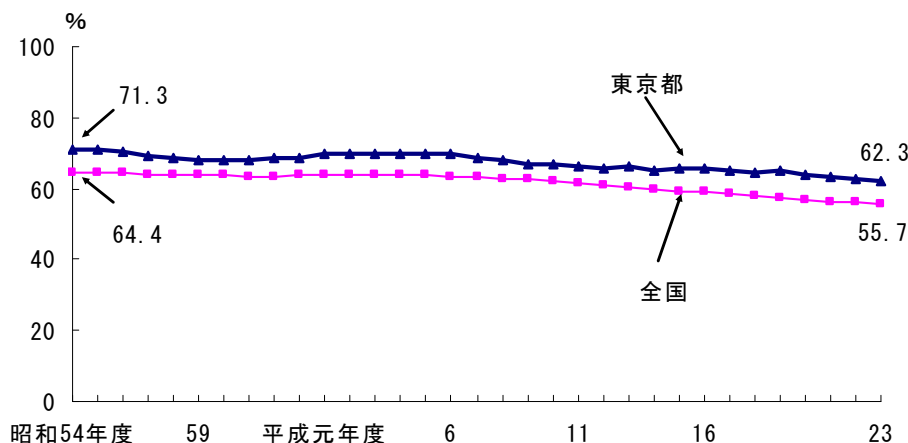
【東京都と全国との比較】

東京都では昨年12月に平成23年度学校基本調査報告を公表しましたが、本年2月に文部科学省において全国値を確定数として公表したため、東京都と全国との比較を行いました。

1 幼稚園

- ① 昭和54年度から幼稚園修了者数の小学校第1学年児童数に対する割合の推移をみると、東京都及び全国ともに低下傾向であるが、東京都の比率は全国より常に上回っている。
- ② 今年度の東京都と全国の差は6.6ポイントとなった。 (図1)

図1 幼稚園修了者数の小学校第1学年児童数に対する割合の比較



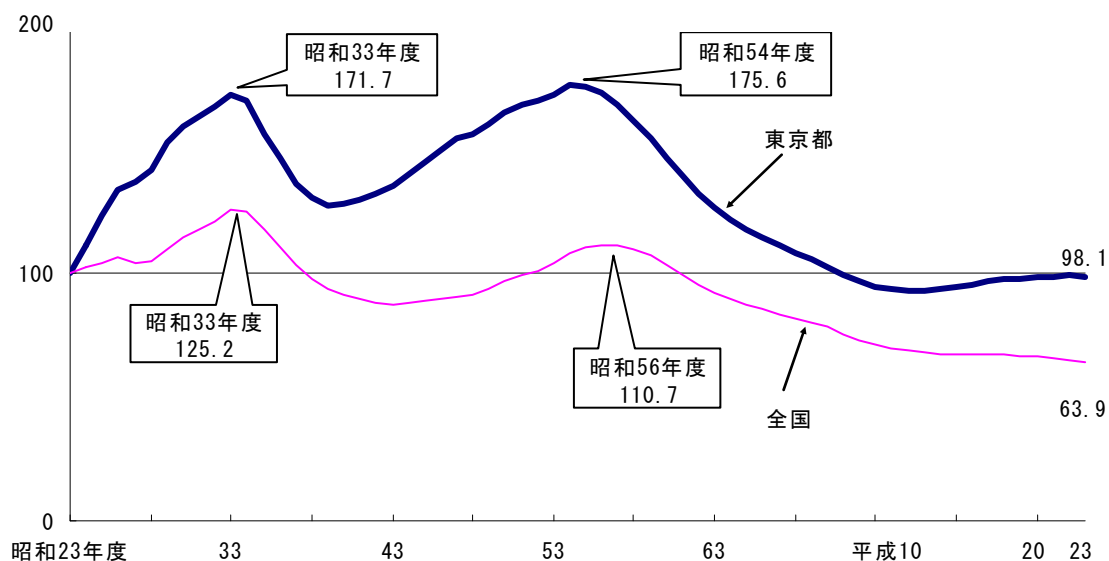
注) 幼稚園修了者数は各年3月修了者、小学校1学年児童数は各年5月1日在籍者

2 小学校

(1) 児童数

- ① 東京都の第1次ベビーブームによる小学校児童数のピークは、全国と同じ昭和33年度で、指数では171.7となっており、全国の125.2を46.5ポイント上回っている。
- ② 東京都の第2次ベビーブームによる児童数のピークは、昭和54年度で全国より2年早く、指数では175.6で、第1次ベビーブームのピークを上回っている。
- ③ 第2次ベビーブームによるピーク以降、全国は昭和57年度から低下が続いているが、東京都はピークから低下した後、平成13年度からは10年連続で上昇したが、今年度は0.5ポイント減少した。 (図2)

図2 小学校児童数の比較 (昭和23年度 = 指数100)

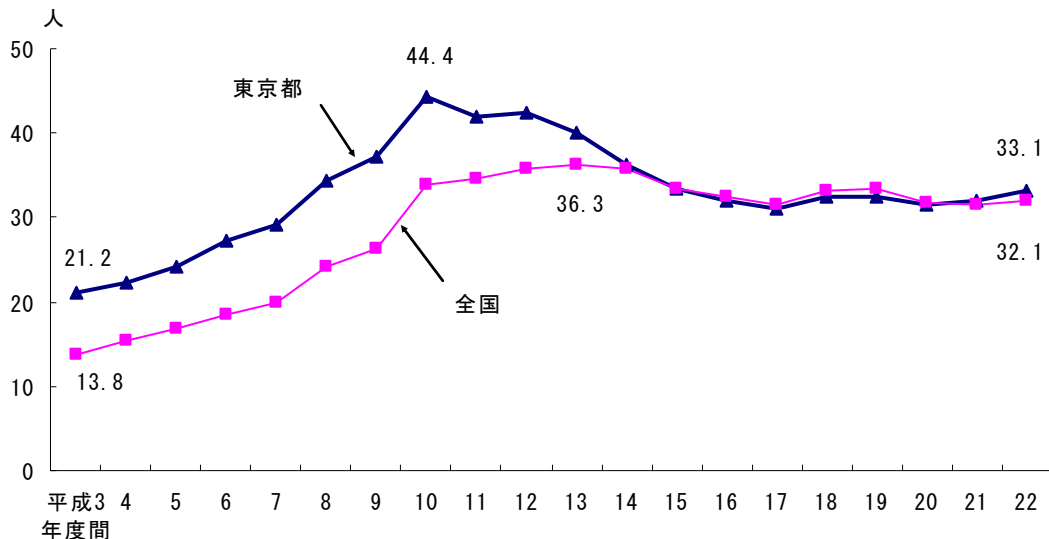


注) 昭和23年度の児童数を100として各年度の児童数を指数化している。

(2) 不登校者数

- ① 小学校の不登校者数を1万人当たりの児童数で見ると、東京都は平成10年度間のピークから11.3人減少して33.1人になった。また、全国では平成13年度間のピークから4.2人減少し32.1人となった。
- ② 東京都及び全国の小学校の児童1万人当たりの不登校者数は、平成14年度間からはほぼ同じ傾向で推移していたが、今年度は東京都が全国を1.0ポイント上回った。(図3)

図3 小学校児童1万人当たりの不登校者数の比較

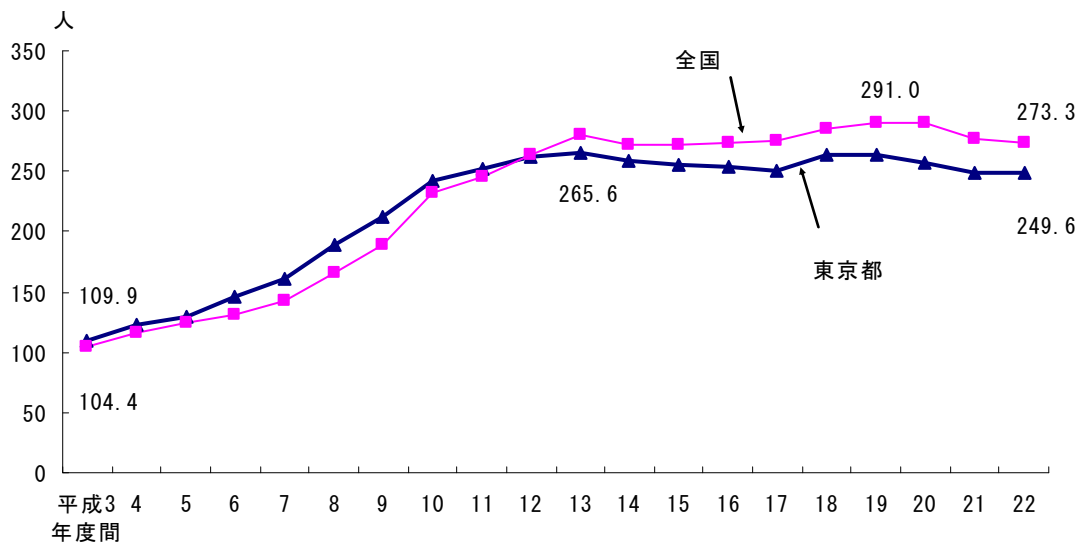


注) 平成3年度間から現在の基準(年度間30日以上欠席した者)で調査を開始した。

3 中学校

- ① 中学校の不登校者数を1万人当たりの生徒数で見ると、東京都は249.6人となり平成13年度間のピークから16.0人の減少となった。また、全国では平成19年度間のピークから17.7人減少し273.3人となった。
- ② 平成4年度間から平成11年度間まで東京都は全国を上回っていたが、平成12年度間以降は全国を下回っている。(図4)

図4 中学校生徒1万人当たりの不登校者数の比較



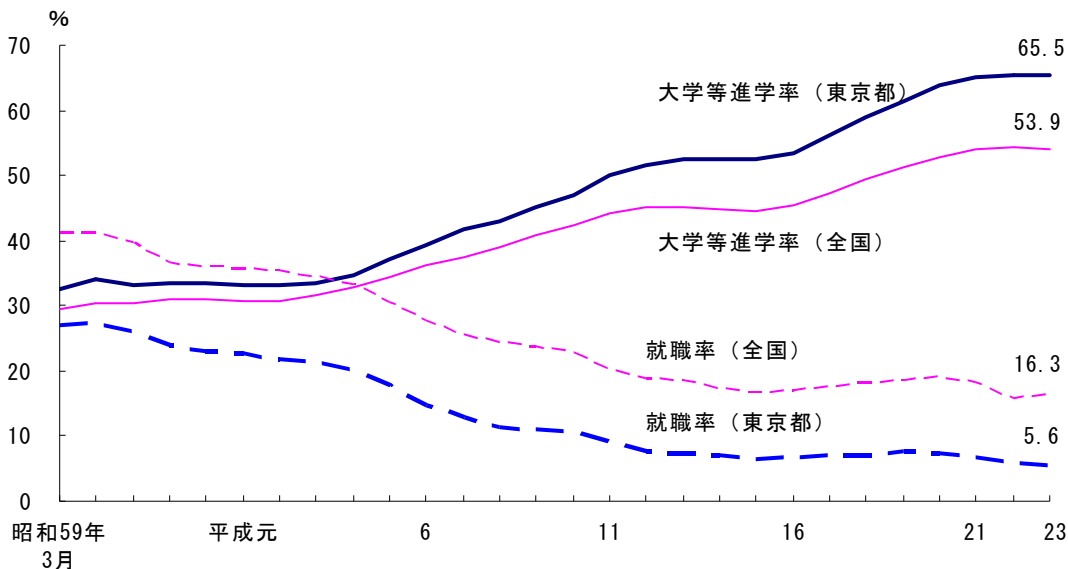
注) 平成3年度間から現在の基準(年度間30日以上欠席した者)で調査を開始した。

4 高等学校

(1) 進学率・就職率

- ① 東京都の大学等進学率は、全国を上回っており、その差は徐々にひろがる傾向にある。
- ② 東京都の就職率は、全国を下回っており、常に10ポイント以上の差がひらいている。 (図5)

図5 高等学校卒業者の大学等進学率及び就職率の比較

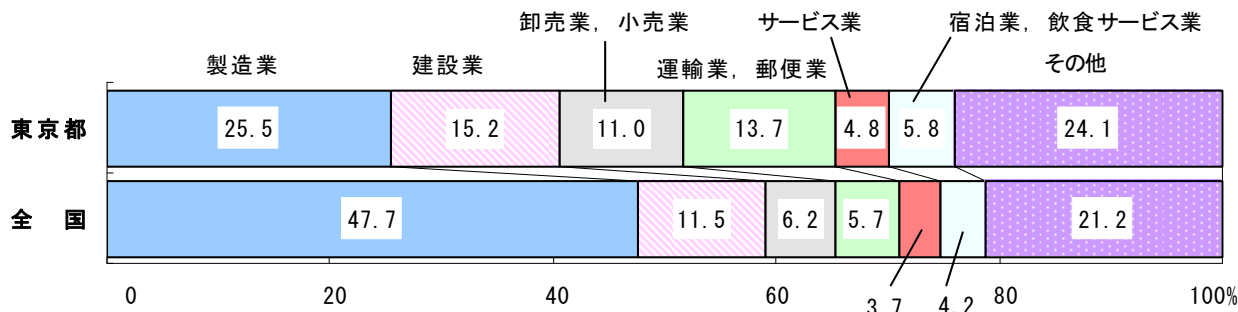


注) 大学等進学者は、昭和59年度から現在と同じ調査項目で調査を開始した。

(2) 就職者の産業別構成比

- ① 高等学校卒業者の男子就職者の産業別構成比では、東京都は「製造業」が25.5%で最も多いが、全国の47.7%より22.2ポイント下回っている。
- ② 男子就職者を全国値と比較すると、「建設業」が3.7ポイント、「卸売業、小売業」が4.8ポイント、「運輸業、郵便業」が8.0ポイント、「サービス業」が1.1ポイント、「宿泊業、飲食サービス業」が1.6ポイント全国よりそれぞれ上回っている。 (図6)

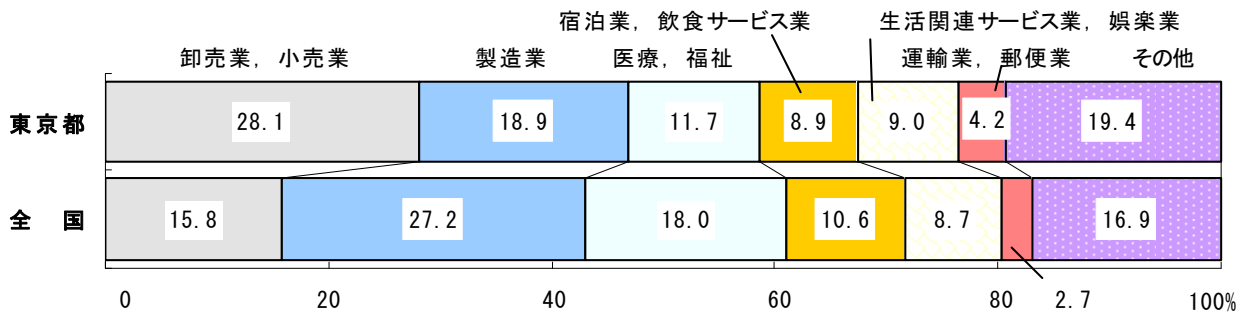
図6 就職者の産業別構成比の比較 (平成23年3月卒業生 男)



- ③ 東京都の女子就職者の産業別構成比では「卸売業，小売業」が 28.1%と最も多く、全国の 15.8%より 12.3 ポイント上回っている。
- ④ 女子就職者を全国値と比較すると「卸売業，小売業」のほか、「生活関連サービス業，娯楽業」が 0.3 ポイント、「運輸業，郵便業」が 1.5 ポイント全国よりそれぞれ上回っている。また、「製造業」が 8.3 ポイント、「医療，福祉」が 6.3 ポイント、「宿泊業，飲食サービス業」が 1.7 ポイント全国よりそれぞれ下回っている。

(図 7)

図 7 就職者の産業別構成比の比較 (平成23年3月卒業者 女)

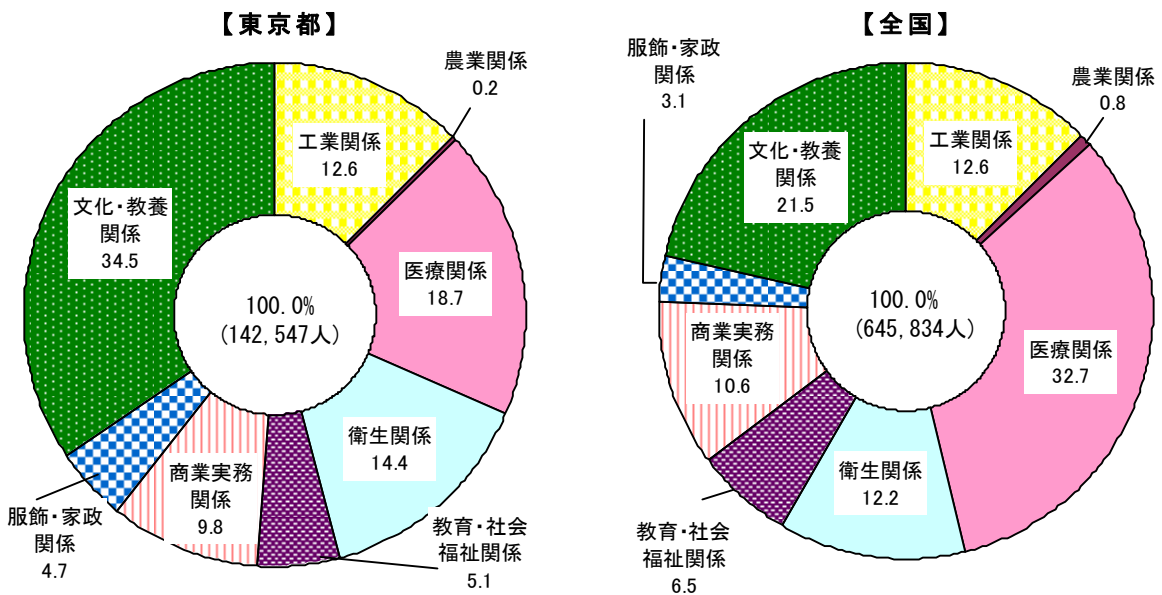


5 専修学校

- ① 東京都の専修学校生徒数は 142,547 人で、全国の生徒数 645,834 人の 22.1%を占めている。
- ② 分野別の構成比でみると、東京都では「文化・教養関係」が最も多く 34.5%で、全国の 21.5%を 13.0 ポイント上回っている。また、「医療関係」は 18.7%で、全国の 32.7%を 14.0 ポイント下回っている。

(図 8)

図 8 専修学校生徒数の分野別構成比の比較 (平成23年度)



6 各種学校

- ① 東京都の各種学校生徒数は 23,029 人で、全国の生徒数 122,636 人の 18.8%を占めている。
- ② 分野別の構成比でみると、東京都では「その他（外国人学校）」が 50.9%、「文化・教養関係」が 30.7%で全体の8割を超えているが、全国では「その他（自動車操縦）」が 23.4%、「その他（外国人学校）」が 21.7%、「その他（予備校）」が 19.6%、「文化・教養関係」が 12.5%、「商業実務関係」が 10.7%の順で多く全体の約9割となっている。

(図9)

図9 各種学校生徒数の分野別構成比の比較（平成23年度）

